公表	事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所　れいんぼう			
○保護者評価実施期間	2025年　2月　10日		～	2025年　2月　17日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	2025年　2月　17日		～	2025年　2月　21日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　2月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人ひとりの発達段階に合わせた個別的・集団的な保育や支援を行なっている。	・保護者様との情報共有・関係機関（相談支援専門員・各市町村担当保健師）との連携、及び職員間の情報共有。	・引き続き、関係機関との情報の共有を行い、利用児・保護者様の様子や状況に合わせてこまやかな支援方法を提案し、連携をとっていく。
2	・感染症予防対策。	・毎日、朝と夕方に施設内全体・教材等の清掃と消毒。今年度事業所内での感染がなかった。 ・次亜塩素生成水を使っての噴霧消毒・拭き上げなど。 ・各部屋にエアドッグを設置して保育を行っている。	・引き続き、清掃や消毒を引き続き徹底して丁寧に行う。 ・家庭とも連携を取り、事業所内での感染症等の予防を行う。
3	・異年齢との交流と少人数であることによる支援の充実。(季節や発達段階に合わせた保育内容のカリキュラムの立案)	・1歳児から年長児までのお子様をお預かりしている為、異年齢のお子様が一緒に事業所で過ごしている。年齢や発達段階に合わせて5領域を中心とした活動や保育内容のカリキュラムの立案をチームで行い、保護者と連携を取って日々の支援を行っている。	・社会情勢などを通して情報収集を行い、季節や利用児の状況に合わせて保育内容のカリキュラムをこまやかに立案するためにも職員間で意見交換し質の向上を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者全員にペアレント・トレーニング等に対する研修会の実施ができなかった。	・利用児、保護者様それぞれに個別での対応は行ってきましたが、事業所全体での研修会などが開催できなかった。	・法人内の児童発達支援センターが行う保護者様向けの講和会や研修会などに一緒に参加していただくようにする。
2	・異年齢の集団と少人数である事。	・少人数である為、同学年となる利用児の人数が毎年変動している。 ・同学年同士の人間関係・社会性面での支援に対して支援方法の確立。	・法人内の児童発達支援センターの同学年のお子様と交流する事によって、利用児の様子や状況を見て、事業所での5領域を中心としたカリキュラムに組み込み保育に取り入れいきながら、発達・成長に繋げていく。
3			

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所　れいんぼう

公表日　2025年　3月　25日

利用児童数　11名　回収数　11

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		1	【わからないのご意見】 ・施設の中をあまり見たことがない。	・どちらともいえない、わからないの回答がありましたので、それぞれの設備など情報伝達を行う為、わかりやすく説明を行いました。要望があれば、その日の内に説明・見学など個別に対応する事も伝え、「わかりました」と言われ、理解して頂きました。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	1				・どちらともいえないの回答がありましたので教材や施設内全体を毎日清掃、殺菌消毒を実施している事をわかりやすく説明し「いつもきれいですよね」と言われ、理解して頂きました。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	11					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11					
保護者への説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	12	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3		2	【わからないのご意見】 ・参加した事はありません。ペアレント・トレーニング等があっているのかわかりません。	・どちらともいえない、わからないの回答がありましたので相談等があった場合はその都度、面談や電話連絡、連絡帳を使用しお子様との関わり方や支援方法を提案し、事業所内で対応できる範囲で対応させて頂く事を再度わかりやすく説明しました。「いつも相談させていただいていますね」と言われ、理解して頂きました。
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11					
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11					
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11					
	17	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11					
	18	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11					
	19	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	1				・どちらともいえないの回答がありましたので毎月れいんぼうだよりを発行し、その月の活動予定・支援目標を掲載し各家庭にお配りしている事、ホームページについても再度わかりやすく説明しました。「毎月楽しみにしていて家でファイルに閉じて見ています」と言われていました。
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11					

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	21	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11					
	22	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11					
	23	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	11					
	24	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1				・どちらともいえないの回答がありましたので、お子様の体調（怪我を含む）など気付いた事があれば直接電話にて報告・説明している事、電話が繋がらない場合には連絡帳に記入している事を再度確認すると「いつもすぐに連絡もらっていますね」と言われ、納得していただきました。
満足度	25	こどもは安心感をもって通所していますか 。	10			1	【わからないのご意見】 ・子どもの本心はわからない時もあります。	・わからないの回答がありましたので、家庭での様子を含め、事業所と家庭と連絡を密に取りながら、一人ひとりにあった声掛けを行い対応している事を保護者様に再度説明しました。「帰ってきたら笑顔であった事した事を話すので楽しいんだと思います」と言われていました。
	26	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	1		1	【どちらともいえないのご意見】 ・離れる時に嫌がりますが、行けば楽しんでいます。	・どちらともいえない・わからないの回答がありましたので、お子様の様子に合わせ連絡帳や電話にて事業所での様子を連絡し対応している事を説明し理解していただきました。「れいんぼうで歌っている歌を歌ったり、連絡帳にも一日の様子が記入されているので楽しんでいるのがわかります」と言われていました。
	27	事業所の支援に満足していますか。	11				【はいのご意見】 ・今年の3月で卒園ですが、4年間の間に先生たちのおかげでたくさんの事が出来る様になり、自分で気持ちを発する事なども出来ました。ありがとうございました。	

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所　れいんぼう

公表日　2025年　3月　25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		保育室、静養室を使用し、個別・集団の活動内容に合わせてスペースを活用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		職員が遅刻・早退・有給を取る時は、本部から応援に来て頂いています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		椅子やロッカー、靴箱など名前のシールを貼り利用児が分かりやすいようにしています。また、地域で生活する為対象利用児が対応出来るよう階段や段差がありますが、場所に合わせて手すりなど安全に配慮した設備を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日の清掃、教材やおもちゃ・室内の消毒を行い感染症との予防にも努めています。壁紙など室内も明るい色を使ってかわいらしい雰囲気です。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	3		本人様の希望を聞いて状況や場面に合わせて他の部屋を使用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		気付いたこと等その都度報告・連絡・相談を行い、一人ひとりに合わせて支援方法を考えています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		毎日の連絡帳等で保護者様から意見や要望をいただいた時は、内容を詳しく聞いて出来るだけ早く対応し、改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		気づいた事があれば、相談しお互いに意見を出し合って改善にあたっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		第三者委員会には、元児童相談所所長・弁護士・精神保健福祉士に入って頂き定期的に施設内を巡回し、評価をして意見を出して頂いています。意識を持って対応しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		法人内・県内を中心に研修に参加し、得た知識等は現場に活かすよう職員間で情報共有し工夫しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	3		5領域に合わせて支援プログラムを作成し、ホームページに掲載、また保護者様にも見て頂きました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		各市町村の担当保健師から紹介して頂き、保護者様に相談、希望・要望を聞き、本人様の様子を含めて分析し、計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		保護者様、各担当保健師、医師などそれぞれの専門機関と協力し、柔軟性を持ったアセスメントを行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		個別支援計画を基に、毎月のカリキュラムを作成し、日々の保育に取り入れ支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		各市町村の担当保健師から紹介して頂き、保護者様に相談、希望・要望を聞き、本人様の様子を含めて分析し、計画を作成しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		保護者様にアンケートにて尋ねた希望・要望を基に支援計画を作成しています。個人面談を行った際、内容について説明を行い質問・意見を尋ね、こまやかな支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		カリキュラムはチーム内で意見を出し合いながら毎月交代で作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		活動内容に偏りがない様、また当日の利用児の様子や天候に合わせて行うように工夫しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		保護者様にアンケートにて尋ねた希望や要望を基に、利用児の状況に合わせて支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		始業時には、活動の内容に合わせて、注意する点や役割担当について打ち合わせを行い、職員間で理解できるまで話し合いを行い支援に繋げる為工夫しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	3		その日の活動内容を振り返り、反省点や良かった点、気付きを上げ、保護者様と職員が共有し、次回の活動の支援に繋げる為工夫しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		利用児の様子や支援に関する記録をできるだけ細やかに行い、柔軟性のある支援を行えるようチーム内で共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		毎月のケア会議時に、支援計画の目標・経過について確認を行い、見直しの必要があれば、保護者様に相談し、利用児の現状にあった目標を作成しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加し、保護者様の話、利用児の様子を伝え、日々の支援に繋げられるよう、職員間に周知しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		各市町村の担当保健師には、お子様の様子を伝える連絡を月一回、利用児・保護者様の様子に合わせて随時連絡を入れています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		保護者様の意見を聞き、同意を得て事前に利用児の様子を保育園等より見に来て頂き、様子など話しをする事を事業所から勧めています。保育園との連絡帳を用意し気付いた事など記入し、日々連絡を取っています。今年度も相談支援専門員が間に入っていただきました。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		保護者様の意見を聞き、同意を得て事前に利用児の様子を小学校より見に来て頂き、様子など話しをする事を事業所から勧めています。今年度は電話にて対応しました。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	3		法人内の児童発達支援センターと連携し、支援方法・保育活動内容話し合ったり、通園バスを利用したり、行事前の練習時を通して意見交換を行うようにしています。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3		少人数での活動を希望されている保護者様もいらっしゃる為利用児全員では行っていません。法人内の児童発達支援センターとは、通園バスを利用したり、行事前の練習時を通して交流を持つようにしています。保育園に送迎をし併用利用されている方もいらっしゃる為利用についてはその都度保育園等とも連絡を取り合っています。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		毎日、家庭での様子を連絡帳にて知らせて頂き、相談等があった場合は、直接面談・電話や連絡帳を使用してその都度返答、対応しています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		相談等があった場合には、直接面談や電話、連絡帳を使用してお子様との関わり方や支援方法の提案など事業所で対応できる範囲内でその都度対応しています。	
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		契約時に説明を行い、変更等があった場合にもその都度説明を行っています。質問があれば、個別に対応しています。	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	3		個人別懇談会時に、現状と目標についての経過を確認し合い、目標については新規作成する場合や変更する場合には保護者様と意見交換しています。	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		個人別懇談会時に目標にして意見を出し合い、また提案し、その後書面にてサインして同意をいただいています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		相談等があった場合には、直接面談や電話、連絡帳を使用してその都度対応・改善するともに職員間でも情報等の共有を行ってます。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		行事を行った際、保護者様同士話しなどが出来るよう場所と時間を設けました。利用児と職員とで行った行事については写真をおたよりに載せ各家庭にお渡しし情報を共有して頂きました。3月には保護者様参加のお別れ会を行いました。	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		保護者様から相談があった際、またお子様の様子で気になった事などはその都度電話や連絡帳を使用したり、送迎時に直接話をして対応し、職員間で情報共有・周知しています。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		毎月始めに「れいんぼうだより」を発行、各家庭に配布しています。れいんぼうでの写真を載せ様子もお知らせしています。写真掲載については保護者様の同意を得ています。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		写真掲載など個人情報の取扱いについては説明を行い同意を得て書類にサインして頂いています。	
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		絵カードや写真カードを使用したりわかりやすくかみ砕いて説明を行う様にしています。また担当保健師にも協力して頂いています。	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		事業所の見学は、希望があれば随時受け付けています。法人内での行事の際には地域住民・教育関係、児童相談所関係、他の事業所の方々に来ていただいています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを保護者様にも見て頂き、毎月行う訓練を実施した際には、連絡帳に記入し訓練の内容、利用児の様子をお知らせしています。	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		火災・土砂災害・地震・水害・不審者侵入対策と様々な状況を想定し、安全に避難が出来るよう訓練を行っています。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		服薬がある場合は、服薬依頼書に必要事項を記入して頂き、確認しています。てんかんなどの発作についても、事前に様子など記入して頂き使用する際の同意書に署名・捺印して頂いています。	
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		給食の献立表を配布しています。現在、アレルギーのあるお子様はいませんが、事業所内で対応できる範囲で家庭と連絡を取り合いながら対応します。	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		法人内の消防計画書に基づいて研修や訓練に参加しています。また訓練後には問題点や反省点をあげて話し合いをしています。	
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	3		避難訓練が実施された際には実施した事と訓練時の利用児様の様子を連絡帳に記入して家庭に伝えています。	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		法人内各事業所等のヒヤリハットの事例を基に、事業所内で注意すべき点や気付いたこと等職員間で意見を出し、利用児の対応・支援に繋げるようにしています。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		法人内各事業所等の研修報告及び施設内外を中心に研修に参加し、得た知識は現場で活かすようにしています。また虐待防止チェックリストを基に毎月のケア会議で虐待の有無を確認しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		身体拘束を行わず、保育士が安全面を配慮し対応していますが、その時の利用児の状況や周りの環境により、体や手など持って支える際は、法人の身体拘束のマニュアルに基づいて保護者様に説明し、納得した上で対応の仕方について同意して頂き、同意書に署名・捺印して頂きます。また、その時の様子を記録し保護者様にもその都度様子をお知らせします。今年度は該当者はいませんでした。また職員全員で身体拘束マニュアルについて再確認しました。	